

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		災害防止対策事業					
事業の概要		<p>平成16年の台風23号や近年の局地的な集中豪雨の頻発など、これまで予期されなかった風水害の発生が現実のものとなっている。本事業はこれらの災害から町民の生命・財産を守り、安心・安全なまちづくりに資するものである。</p> <p>今回、頻繁に浸水する区域の被害解消と、放置しておくとならば重大な災害が発生する可能性の高い箇所の整備を実施し、災害の未然防止に努めるものである。</p> <p>< 上谷貯水池堤体整備事業 > 上谷貯水池災害防止工事（堤体補強工、集水ホ-リング工81m、水路工）</p> <p>< 幾地地区浸水対策事業 > 幾地地区排水路詳細設計</p>					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	16,785	本年度事業費	16,785	交付金交付額	8,392
事業評価	事業の必要性	上谷貯水池は放置しておけば崩壊する危険性が高く、人命に関わる事故に直結することから、早急な対応が必要である。また、幾地地区においては、大雨のたびに毎回のように浸水被害があることから、早急の解決を目指すものである。					
	事業の有効性	安全で利便性の高い生活基盤整備の実現を目指し、町民の快適な暮らしに寄与するものである。					
	事業の効率性	自然災害を最低限に抑えるためにも、予見し得る被害に対しては可能な限りの対策を講じ、町民の生命・財産を守るべく行政の責務を果たすものである。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
	災害の未然防止に努めることで、災害発生後の行財政負担を軽減するものである。						
	6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。